

令和8年3月30日

尾道市長 平谷祐宏 様

尾道市総合戦略評価委員会  
会 長 荒井 貴史

デジタル田園都市国家構想交付金事業の評価について

### 【評価結果】

尾道市がデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、令和6年度に実施した8事業は、地方創生に対して有効であったと評価する。

### 【各事業に対する委員会の意見】

#### ・ICTを活用した保護者とのコミュニケーションプラットフォーム運用事業

共働き家庭が増える中、出勤前の限られた時間内に学校へ電話連絡する手間が省け、時間を気にせずアプリで連絡できるのは、保護者のみならず、始業前の各施設側にとっても、実際かなりの負担軽減になっていると想像できる。また、アプリを使うことで、忙しい時間帯に電話連絡でメモを取るよりも確実性も増したことも評価でき、ICT活用の好例といえる。子どもの基本情報もシステムで一元的に管理できるところや、保育所から中学校までシステムがその都度変わらないこと、今まで子どもが出した、出さないで不確実になりがちだった配布物も直接保護者に送られ、さらに既読確認機能もあるのは、どれも利用者目線で非常によく考えられていると感じられる。引き続き、利用者、未利用者の声を聴きながら、着実な普及を推進していただきたい。

一方で、指標3・4に示されている市民満足度の向上に直接的に寄与できなかった点については、課題解決に向けた取組の一環として実施されたものの、本事業の目的以外の要因が大きく影響したと考えられ、その結果は理解できるところである。今後の市政においては、本事業の分析結果

を踏まえるとともに、子育て世代の声が届きやすくなるような仕組みを取り入れるなど、「子育て」や「教育体制」の一層の充実に向けた取組が進められ、市民満足度の向上につながることを期待したい。

#### ・ 防災情報の多言語配信事業

本事業は、外国人が安心して生活できる地域づくりにつなげることを目的としており、外国人技能実習生の就労に関わりのある人材派遣会社と連携をして、目標値には達しないにせよ、2倍以上に多言語選択数が増えて、市内居住外国人に対して、防災情報を迅速・確実に伝える体制を整えたことは評価できる。さらに、災害発生前の事前段階で外国人居住者に対して本件アプリをインストールしてもらうよう更なる周知活動や、事業のPDCAを回し、サービスの向上を図る観点からも、テスト配信や訓練時などの機会を活用して利用満足度調査を実施が必要である。

#### ・ スポーツ広場芝管理最適化事業

市民が利用する公共施設において、ロボット芝刈り機が稼働し、常に良好な芝の状態が維持されていることは、本事業の成果として評価できる。導入以前には、費用をかけて整備を行っていたにもかかわらず、年間で複数回の苦情が寄せられていたが、導入後は芝刈りの回数が増えたにもかかわらず費用が抑えられ、利用者満足度の向上につながった点は、意義のある改善といえる。今後は、費用対効果や運用効率、利用者満足度のさらなる検証を進め、生口島の多目的広場以外の市内の施設にも展開できるよう、期待する。

#### ・ スマート公共施設構築事業

オンライン予約件数が全予約件数に占める割合83%、また高齢者のオンライン予約率77%であることから、高齢者を含めたユーザーにとって「使い勝手が良い、使い易い」システムであり、利用者の定期的な申込書の記入申請や、鍵を管理人のところまで毎回取りに行く手間が省け好評であることは評価できる。また、市内の公民館においてWi-Fi環境が整備され、複数の会場をつなぐオンライン講座の実施が可能となった点は、市内の山間部や島しょ部を含む幅広い市民に交流の機会が生まれ、ICTの

活用によって地域間の距離が縮まる効果も見込まれることから、評価したい。公民館等のスマートロックについては、平常時の利用にとどまらず、非常時における迅速な対応にも大きく貢献するものであることから、関係者の理解を得ながら対象施設の拡大に努めていただきたい。

#### ・総合事務システムと連携したスマート市役所実現事業

市民利用サービスの電子化の取組については、手続数・利用件数の実績や満足度結果からも、利便性向上に大きくつながっていることが伺え、高く評価する。また、デジタル技術の活用を進めていくプロセスの中で、特に複数の部署が関係する手続等において、長年続いてきた処理方法の抜本的な見直しにつながる気づきが得られた点、さらにはデジタル技術の活用による効率化推進に向けた意識付けが職員にも進められている点についても、大いに評価する。今後も利用者の申請作業の更なる簡略化を継続して進めていく必要がある。

#### ・保育施設給付費等申請システム導入事業

制度が複雑化する中、自治体側と保育施設側で共通システムを導入してデータ共有することで、一括管理できるようにしておくことは、今後の運営においてかなりの労力軽減に繋がり、システム導入の効果として評価できる。今回、特に、システムが全施設に整備されたことに加え、自治体側が丁寧な説明会を重ねつつ、保育施設側の意見を踏まえながら双方の理解を深める取組が進められた点は高く評価する。今後も、必要な業務の追加と併せて、施設職員の制度理解やシステム利用のサポートを充実させ、給付管理に係る業務時間の確実な短縮につなげていくようお願いする。

#### ・スマート窓口拡大事業

マイナンバーカードと紐づけられた各種申請時に必要となる個人データを活用することは、利用者・自治体双方にとって記入誤りの減少や訂正作業の低減につながり、事務手続きの効率化に確実に寄与するものと考ええる。また、今後の申請業務の拡大を見据え、柔軟性が高く外部委託コストの増加を抑えられるノーコードのソリューションを採用した点は適切

であり、評価する。キャッシュレス決済はまだ支所の方では高齢者も多いので、すぐには浸透しないかもしれないが、今のうちにどの支所でも同じレベルのサービスが提供できるようにしておくことは、地域格差をなくす上でも重要であり、キャッシュレス決済端末の導入は、近年現金を持たない人が増えている中で市役所利用者にもその傾向はいずれ現れるので、将来に備えた導入として評価できる。

#### ・尾道移住コンシェルジュ推進事業

広島県が若者の転出増加で悩む中、20～30代の移住者が尾道市で多いことは、若者に届きやすい発信の効果と思われる。定住支援の交流イベントを島嶼部や山間部にもエリア拡大したことは大いに評価できる。また、コンシェルジュによる移住相談窓口の設置や、各種団体とのネットワークを通じた情報提供により、尾道での生活に関わる総合的な支援が行われている点についても、評価する。今後も、市の魅力を訴求する効果的な情報発信・プロモーションや、関係機関との連携を構築して、これまでに把握したニーズを踏まえた着実な取組を進めることにより、引き続き、全国的な知名度も生かして、県外からの移住・定住の促進と関係人口の創出・拡大を図っていただきたい。